

優秀賞

〔和歌山県納税貯蓄組合総連合会会長賞〕 〔日高納税貯蓄組合連合会会長賞〕

「助け合う、

今も未来も」

日高等学校

附属中学校3年

稲垣 裕稀



あなたは、私たちが復興特別所得税を支払っていることをご存知だろうか。

私は、税について調べていく時に、復興特別所得税という税を平成二十五年から支払っていることを知った。

復興特別所得税は、平成二十三年十二月三日に東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保のため、創設された。これは、所得税、住民税、法人税に上乗せするという形で、二十五年間徴収される。

この税金で東日本大震災の復興を助けることができる。税負担は重くなるが、とても良い税金だと思った。税金によって、復興を手助けをできることは有意義かつ、意味のある税金の利用

である。しかし、知っている人が少ないと意味がない。私の家族もこのような税金があることを知らなかった。税金に対して良いイメージを持っていない人でも、こういう風に税金が使われていることを知れば、税金への抵抗がなくなり、気持ち良く払うことができるのではないだろうか。

そこで、新型コロナウイルスによる経済問題を思い出した。調べてみると、この問題の対策にも税金が使われる予定であることが分かった。

今は緊急対策として、十万人の特別定額給付金や休業協力金、持続化給付金などが国から給付されている。それによって助けられる国民や事業者がたくさんいる。コロナウイルスが収まり落ち着いてきたら、所得税や個人住民税に上乗せ課税することで回収されると言われている。

新型コロナウイルスによる経済問題は、今は大変な状況であるが、税金が経済復活の一步に

つながるだろう。だからこそ、払える人がきちんと払うことが大切である。

災害や大変な状況になった時は、税金によってたくさんの方が助けられていることを知っておくべきだと感じた。今もこれからの未来も、税金によって助けられることはたくさんある。私も今回調べて、初めて復興特別所得税を知った。復興に少しでも協力できていることがうれしかった。大切に使うことに対するのなら、税金を払うことに対するの抵抗がなくなると思った。

税金によって誰かを助けたり、また自分も助けられている。このように、税金を払うことで助け合うことの大切さや必要性を感じてもらいたい。税金が今も未来も助けてくれる。

〔日高地方租税教育推進協議会賞〕

「義務と権利」

日高中学校3年

北山 美桜



て、結局は、私たちの生活を陰で支えてくれていることを知り、複雑な気持ちで少し消えた。

しかし、それは税金だけで足りているのだろうか。国に入ってくるお金は約六割は税金で、残りの約四割は「公債金」という借りたお金で補っているのだ。そうだが、この公債金が増えていることが、今、日本で問題となっているようである。そのうえに、

少子高齢化も進んでいるから、もっと税金の集め方や使い方を、しっかりと考えていかなければならないのだ。

次に、外国の税金について考える。税金は、どの国も同じだと思っていたが、日本の消費税が十パーセントなのに、台湾やカナダは五パーセント、デンマークやノルウェーは二十五パーセントなのだ。国によつてこんなにも違いがあることは知らなかったから、とても驚いた。でも、違いがあるからといって、片方が有利、不利という考え方は違うと思う。現在、世界中で問題となっているコロナウ

イルスだが、日本では、消費税減税を求める主張が相次いでいる。そうだが、考え方は人それぞれだから、色んな意見があると思うが、税金を払うことによつて社会を支えられるから、社会に貢献出来て良いと思う。だから、消費税が上がっても下がっても、私たちがへの支障が生じることはないと思った。

今回、税金について考えてみて気づいたことがある。それは、税金も私たちの「義務と権利」の一つだということだ。なぜかという、私たちには、税金を払わなければならない義務がある。それにともない、学費や医療費など様々なことを負担しても、それらに権利があるからだ。税金を納めることで役に立ち、社会が平等になる。そうして、明るい未来が創られていく。だから、私ももっと税金のことを知り、社会に貢献出来るようになるうと思った。

「何で日本はみんな学校いけるんやろう。」不便な暮らしをしている国の子供達をテレビで見たり、ふと疑問に思った。私たちは、学校に行く事が当たり前だから、何とも思わないことが多いが、実は税金のおかげなのだろう。税金は学校だけでなく、医療や公共事業、ODAという、困っている国を助ける機関などにも使われているのだ。そうだが、では、なぜ税金は納めなくてはならないのだろうか。そもそも税金とは、みんなで社会を支えるための会費のようなものなのだ。だから、もし税金がなかったら、今まで当たり前のように過ごした便利な生活が来ず、不平等な生活になってしまうのだからと思う。私は、消費税が十パーセントに上昇した時、暮らしが不便になると思う、とても嫌な気持ちだった。でも、それはデメリットだけじゃなく